

マミーズ・ネットのあゆみ

1996 (H8) 年度

- ・育児サークル連絡会として「マミーズ・ネット」誕生
- ・情報誌を編集する「ポケット倶楽部」誕生

- ★第1回「子育てわいわいフォーラム」開催
文部省「女性の社会参加支援事業」
（『WAKE UP 上越』が委嘱を受けた事業）として
- ★子育て応援誌「With Kids」創刊（ポケット倶楽部）

1997 (H9) 年度

- ・引き続き、主に文部省「女性の社会参加支援事業」(『WAKE UP 上越』が委嘱を受けた事業)で活動
- ・上越教育大学「男女共同参画セミナー」企画メンバーとして参加

- ★子ども服・用品専門「ポケット倶楽部のフリーマーケット」の開催を始める

市外・県外に活動範囲を広げはじめる。

1998 (H10) 年度

- ★北京 JAC 大3回シンポジウム(新潟市)、ゆうまつどフェスタ(千葉県松戸市)に呼ばれて、「ゲキ白！子育て」上演
- ★マミーズ・ネットの事業としてマミーズ講座を始める

自力で山田真さんを招く。皆の想いをこめた依頼の手紙に対して「断れない依頼というものもあるんですね」との返信をもらう。

1999 (H11) 年度

- ・自ら実行委員会をつくり協賛金を集めて、著名講師を招いた「子育てわいわいフォーラム」を開催
- ・『子育てわくわくフェスタ実行委員会』にマミーズ・ネット、ポケット倶楽部のほか、多くのメンバーが参加

- ★FM 上越「らくらく子育て情報」開始
- ★マタニティカレッジ(上越市)に、メンバーが交代で夫婦で講師役をつとめる
- ★ママのためのクリスマスランチをホテルセンチュリーイカヤを会場に開催(ポケット倶楽部)

実行委員会の中核として活動。多くの人々と出会った。

2000 (H12) 年度

- ・文部科学省「0歳からのジェンダー教育推進事業」をマミーズ・ネットを核とした『ジェンダーフリー・わいわいフォーラム実行委員会』で受託。単年度事業であるが、以降3年連続で応募し、選定された。

- ★ジェンダーについて考える絵本「いろんなかぞく いろんなおうち」制作
- ★マタニティサポーター研修会開催

第1回
「子育てわいわいフォーラム」



応援メッセージ

20年前、夫の転勤で東京から上越市に越してすぐに出産、慣れない雪国生活で孤独な閉じこもり育児をしていた私が出会ったのが、マミーズネット創始者のみなさん。そして、孤独な子育てをする人同士をつなげたい！と創刊した「WhisKids1号」。あの頃、公民館の一室に集っていた乳幼児のママたちから、つながり広がり…18年ですか～、感無量です。私はその後東京に戻り、マミーズネットで気づいた子育ての楽しさ・子どもの力を、自分の周りの人にも伝えたくて…団体立ち上げちゃいましたよ♪マミーズネットの功績は、地域も世代も超えて、人から人へと、つながり広がり続けていくんですね。素敵です♪ これからもずっと応援していますヽ(。^_^)

中川奈緒美(東京都在住)

現在 NPO 法人あそびっこネットワーク代表

応援メッセージ

25年前、一歳半の息子連れUターンしてきた頃を思い出すと、今は隔世の感があります。

車の運転が出来ない妻は、雪の中具合の悪い子どもを抱え救急診療センターまで電車で行きました。当時は子育て応援システムは皆無、携帯電話やソーシャルメディアの発達浸透も、今は目を見張るばかりです。今後は肌の温もりが感じられるアナログな活動が求められるのではないのでしょうか。マミーズ・ネットの今後の活躍に期待します、おめでとうございます。

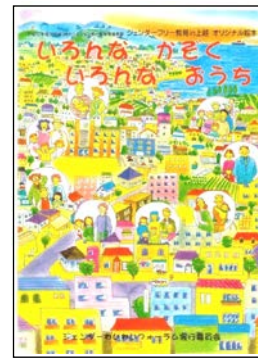
森田 君夫

FM上越 放送課長

2001 (H13) 年度

- ・引き続き、文部科学省「0歳からのジェンダー教育推進事業」を『ジェンダーフリー・わいわいフォーラム実行委員会』で受託

- ★ホームページ「こそだてe-わいわいフォーラム」開設
- ★CD-ROM「いろんなかぞく いろんなおうち」制作



絵:まるやまえみ

2002 (H14) 年度

- ・文部科学省「生涯にわたる男女共同参画教育推進事業」を『わいわいフォーラム上越』として受託
- ・社会福祉医療事業団助成を受ける

- ★マンガ「ゲキ白! 子育て」発行
- ★両親講座開催

この頃から「法人化すべきか？」の議論をはじめ。



2003 (H15) 年度

- ・文部科学省「男女の家庭・地域生活充実支援事業」を『わいわいフォーラム上越』として受託

- ★子育て支援士養成講座開催

2004年5月 法人設立総会 開催
9月 法人登記

2004 (H16) 年度

- ・NPO法人マミーズ・ネットを設立 (マミーズ・ネットとポケット倶楽部)
- ・高土町に事務所開設。専用電話をもつ
- ・文部科学省「男女の家庭・地域生活支援事業」を『わいわいフォーラム』として受託

- ★プレイバックシアターパフォーマー養成講座を行う
- ★子育て支援者向けに「あったらいいな こんな子育て支援」制作
- ★イベントカレンダーへの情報提供開始
- ★東北電力「親子クラシックコンサート」で保育コーディネート

大きな一歩! だった

応援メッセージ

5年間上越で過ごシマミーズ・ネットとの出会いは私にとって一生の宝物といっても過言ではありません。思い出は尽きず、福岡に帰って7年たった今でも私が前向きになれる影響力を持っています。思い出の一つが法人化に関わられたことです。NPOってなに?どんなメリット?書類・手続きは・・・など一つずつ皆で勉強しながら進んでいきました。法人化で社会的に認められる、その中で模索していた企業・父親講座につながっていったのだと思います。

K. H (福岡県在住)

現在は駐車場の管理運営を仕事とする他、PTA、地域活動、同窓会等、諸々の役員として関わっている

2005 (H17) 年度

- ・上越市家庭教育推進協議会事務局を担い、市内すべての小中学校等での講座開催事務を行う
- ・マミーズ・ネット独自のホームページを開設

- ★企業向け出前(子育て支援)講座始める
- ★子育てサポーターリーダー養成講座(4回)の企画運営(上越市家庭教育推進協議会主催)
- ★JCV「子育て応援団」企画会議への参加始める
- ★「ママのしゃべり場」を始める

汐見稔幸さんから巻頭にいただいたメッセージが“帯”になりました!



中條美奈子 著
(絵:西岡直子)



絵:西岡直子

2006 (H18) 年度

- ・内閣府地域活性化事例研究事業（女性が輝く地域づくり）～上越市と協働で事業を行う～
- ・事務所を中田原に移転
- ・キリン福祉財団助成を受ける
- ・引き続き上越市家庭教育推進協議会事務局を担う
 - ★上越はつつ元気塾保育を年間を通してコーディネート
 - ★「きいてきいて今どきの子育て気がつけば少数派」発行
 - ★「おとうさん講座『はじめの一步』」の企画運営（上越市家庭教育推進協議会主催）
 - ★「子育て応援ひろば ふう」1月よりプレ OPEN 3月に記念パーティー

2007 (H19) 年度

- ・「子育て応援ひろば ふう」正式 OPEN
- ・上越市こどもセンターの運営受託開始
- ・福祉医療機構助成を受ける
- ・引き続き上越市家庭教育推進協議会事務局を担う
 - ★With Kids News とし、フリーペーパーで年4回の発行を始める
 - ★保育コーディネートを事業化
 - ★子育てサポーター養成講座（①シニア向け、②中級者向け）を行う
 - ★「おやしパワー出陣！～学校をもっと楽しくするために～」企画運営（上越市家庭教育推進協議会主催）

ひろばの活動開始
有給スタッフが誕生

2008 (H20) 年度

- ・よみうり子育て応援団大賞 選考委員特別賞を受賞
- ・「地域SNS～子育てJCANの企画・運営」（上越市家庭教育推進協議会主催）
 - ★家庭教育・次世代育成地域協働フォーラムを又エック（国立女性教育会館）とマミーズの両主催で行う
 - ★子育てひろば研修セミナー上越開催 開催地事務局を担当
 - ★3月 よみうり子育て応援団大賞受賞記念祝賀会

2009 (H21) 年度

- ・公益信託にいがたNPOサポートファンド助成を受ける
- ・「こどもの虐待防止推進オレンジリボンキャンペーン事業」を新潟県から受託
- ・2010年3月、NHK「福祉ネットワーク」にて活動紹介される
- ・ブログ開設
 - ★新潟県労者福祉財団より助成を受け「地方発 みんなでつくる子育て支援」をこども未来社から出版
 - ★保育ボランティア入門講座を行う
 - ★第1回 市議との意見交換会を行う
 - ★子育てママのためのIT講座を行う（NPO 法人新座こそだてネットワークと両主催）



中條美奈子
金山美和子
荻原佐知子 共著

応援メッセージ

マミーズさんとの出会いは、2006年に内閣府男女共同参画局が実施した女性が輝く地域づくりに参加していただいたのがきっかけです。

事業実施での中條さんやメンバーの皆さんの積極的な取組姿勢には、ただただ驚かされました。その後、何度かメンバーの方々にお会いしていますが、その元気印にいつも圧倒されています。

マミーズさんは当時から、子育てに関する地域に密着した地道な活動も取り組んでおり、今では上越になくはならない存在になっていると思います。

今後も地域の皆さんに必要とされる活動を若い方たちの力も交えて明るくそして楽しく続けて下さい。「継続は力なり」です。

横内 憲二
内閣官房副長官補室 参事官補佐

応援メッセージ

子育てひろば「ふう」はマミーズの待ち望んだ場所であったように思います。あんなこともしたい、こんなこともしたい、と膨らんでいく思いや夢。形にしていくのに一生懸命でした。うまくいったりいかなかったり…。試行錯誤を繰り返しながらも、スタッフとしてやりがいのある楽しい日々でした。そして利用して下さった親子さんからの心からの感謝の言葉は、いつも心の支えでした。

支え、支えられ、本当に素晴らしい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

M. I (上越市在住)

現在は障害者施設支援員

応援メッセージ

長女が2か月の時に実家から上越に移りました。家事と育児の両立は想像以上に大変で、夫が帰ってくるまでは人と会話することもなく、誰かとしゃべりたい一心で「ママのしゃべり場」に参加したのが、マミーズとの出会でした。

その後、ラジオ・テレビの企画・子育て劇・企業講座など様々な体験をさせてもらいました。自分のことは後回しになりがちな育児中に、自分を磨ける体験は本当に貴重で楽しいものでした。マミーズがなければこれほど楽しい子育てではできなかったらと、3児の母となった今でも自信を持って言えます！

H. M (三条市在住)

現在は高校非常勤講師など

2010 (H22) 年度

- ・放課後児童対策「わかあゆクラブ」の運営を受託（わかあゆクラブ実施委員会から）
- ・「家庭教育支援民間提案型協働事業（父親の家庭教育への参画推進事業）」を新潟県から受託
- ・「こどもの虐待防止推進オレンジリボンキャンペーン事業」を新潟県から受託
- ・移動子育てひろばスタッフ研修を上越市から受託
 - ★NPファシリテーター養成講座を行う（新潟県から受託事業）
 - ★塚田こども医院との連携。ファイザー製薬主催の明橋さんの講演会に企画から加わる。
 - ★東日本大震災への支援活動を行う。救援物資をこどもセンターで受付
 - ★「ママのしゃべり場」→こどもセンター事業「おしゃべり会」として継続

2010年春、NHK教育テレビ「福祉ネットワーク」で上越における子育て支援の取組みを取材することになり、マミーズを訪問しました。「ふう」「こどもセンター」で話を伺いました。様々な意見を互いに聴き、語りあう。その対話のスタイルに感銘を受けました。安心して楽しく暮らせる街を、多様な人々の思いとともに創り上げる。それを支えるマミーズの皆様の「聴く力」「伝える力」と、緩やかな連携の技には脱帽です。活動の広がりや深まりを期待しています。

沼尾 波子
日本大学経済学部教授

2011 (H23) 年度

- ・ファミリーサポートセンターの運営受託を開始
- ・移動子育てひろば6か所（25年度より2か所）の運営受託を開始
- ・「家庭教育支援民間提案型協働事業（父親の家庭教育への参画推進事業）」を新潟県から受託
- ・こどもの虐待防止推進オレンジリボンキャンペーン事業を新潟県から受託
 - ★こども未来財団 子育て支援者向け研修事業を行う
 - ★ママ'sトーク「きいてきいて大変なのはうちだけじゃない」を「ひとくちファンド」の募金をで開催
 - ★東日本大震災で上越に避難している人に向けての出前ひろば・しゃべり場を開催
 - ★こどもセンター事業としてNP講座、保育ボランティア入門講座を始める



全国子育てひろば実践交流セミナー
於：上越教育大学

2012 (H24) 年度

- ・全国子育てひろば実践交流セミナー in にいがた 開催事務局を担当
- ・新潟県新しい公共の場づくり支援事業「じょうえつ子育てinfo」開始
 - ★「避難者ひろば」を定期的に行う
 - ★内閣府にて意見聴取を受ける
 - ★「子育てinfoハンドブック」を発行



最近の『子育て応援ひろば ふう』の様子